

令和5年度事業報告

令和5年 4月 1日から

令和6年 3月31日まで



あそ未来創造塾第3期生 修了式



公益財団法人

阿蘇地域振興デザインセンター

ASO DESIGN CENTER

(総括)

令和5年度は、事務局長（候補）の公募を行いました。結果的には「該当者なし」となりました。そのため、再募集することとなり、事務局長不在の状況が発生し、その間、代行職を置き、各種事業を実施し、理事会にて承認された公益事業を実行することが出来ました。

さて、令和4年度から向こう5年間の公益事業の活動指針を定めた「中期計画」に則り、令和5年度も「人材育成」「関係人口」「伴走支援」を重要なキーワードとして、将来にわたり「住み続けられる阿蘇づくり」を進め、現在より少ない人口でも、多様性に富んだ成長力のある社会（豊かな少数社会）を構築していくために、そのベースとなる次世代の「人材の育成」や「移住相談」などに加えて、地域産業振興の取り組みとして、観光振興事業としては、台湾からの来訪者を主たるターゲットとしたインバウンド事業（観光庁事業）や阿蘇の産品振興などに取り組みました。

1. 「人材育成」に関しては、令和4年度に引き続き熊本大学熊本創生推進機構の支援を得て「あそ未来創造塾」を開講し、様々な地域課題の解消に対するビジネスプランの構築を図りました。3期目の5年度も12名の塾生が講座を修了し、起業化に向けて第1歩を踏み出しました。

観光まちづくりを担う人材育成を目指す「阿蘇地域観光リーダー育成講座」には12名が参加し、旅のコーディネーターや演劇的歴史ガイドの実践に向けて取り組むなど、各市町村の観光資源を生かしたプロジェクト構築が図られました。

このふたつの講座の修了生によるネットワークが生まれ、まちづくりのプラットフォームとして機能し始めています。

2. 「関係人口」に関しては、大都市圏における関係人口創出のためのターゲット絞り込みの試みとして、NPO法人ふるさと回帰支援センターや広島市、福岡市での移住定住相談会に加えて、関係人口WEBサイト及び移住定住担当者の研修会を開催しました。

3. 「伴走支援」に関しては、あそ未来創造塾の塾生の起業化支援や「阿蘇珈琲」のブランド化に対する情報発信及び「阿蘇ジオパーク推進協議会」への支援などに取り組みました。

アクティビティの造成に関しては「ASOロゲイニング大会」が4回目の開催となり、観光ロゲイニングとしての取り組みがはじまるなど、一応の成果が出たとの認識から、新たな阿蘇らしいアクティビティの調査研究を図りました。

人口減少社会にあって、令和3年度から5年度にかけて、あそ未来創造塾や観光地域づくりリーダー育成塾などから78名の次世代のまちづくりを支える人材が生まれ、新たなネットワークの礎が築かれたことは評価に値すると考えます。

運用益に関しては、予定した額より、高めに推移しており、当分は、この状態が続くと各証券会社も予測しております。

I. 概 要

令和5年度収支決算

○収入について・・・・・・・・計 93,341千円 ①

(内訳)

基本財産運用益・・・・・・・・79,054千円

受取国庫補助金・・・・・・・・10,711千円

受取地方公共団体補助金・・・・2,150千円

受取民間助成金・・・・・・・・400千円

市町村等負担金(※)・・・・985千円

※阿蘇市、竹田市、高千穂町、高千穂町観光協会等

雑収益・・・・・・・・41千円

○支出について・・・・・・・・計 87,743千円 ②

(内訳)

事業費・・・・・・・・73,451千円

管理費・・・・・・・・14,292千円 (※)

(※) 管理費には理事会費、顧問団等経費を含む

○収支差額 (①-②) 5,598千円 ③

○前年度繰越金額 52,207千円 ④

○翌年度繰越金額 (③+④) 57,805千円

II. 評議員会・理事会・幹事会の開催について

1. 評議員会

法律並びに定款に定められた重要な事項を決定する評議員会を3回開催しました。

・第1回評議員会（書面決議）

① 決議日 令和5年4月18日（火）

② 同意事項

議案第1号 理事の選任について

議案第2号 評議員の選任について

議案第3号 議案第1号から議案第2号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和5年4月18日とすることについて

・第2回評議員会

① 開催日 令和5年6月21日（水）

② 場 所 熊本県阿蘇総合庁舎 2階 総務振興課会議室

③ 報告事項

報告第1号 令和4年度事業報告について

④ 審議事項

議案第1号 令和4年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について

議案第2号 任期満了に伴う理事及び監事の選任について

・第3回評議員会（書面決議）

① 決議日 令和5年10月16日（月）

② 同意事項

議案第1号 評議員の選任について

2. 理事会

当財団の運営に関する事項を決議する理事会を6回開催しました。

・第1回理事会（書面決議）

① 決議日 令和5年4月11日（火）

② 同意事項

議案第1号 令和5年度第1回評議員会の開催について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和5年4月11日とすることについて

③ 報告事項

報告第1号 人事異動に伴う役員の就退任について

・第2回理事会

① 開催日 令和5年5月22日（月）

② 場所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 審議事項

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度会計決算報告及び監査報告について

議案第3号 阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）募集について

議案第4号 令和5年度第2回評議員会の開催について

④ 報告事項

報告第1号 人事異動および退職に伴う役員の就退任について

報告第2号 任期満了に伴う理事及び監事の就退任について

報告第3号 令和5年度基本財産運用予定について

・第3回理事会（書面決議）

① 決議日 令和5年7月19日（水）

② 同意事項

議案第1号 理事長の選定について

議案第2号 議案第1号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和5年7月19日とすることについて

・第4回理事会

① 開催日 令和5年10月2日（月）

② 場所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 審議事項

議案第1号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター副理事長の選定について

議案第2号 令和5年度第1回会計補正予算について

議案第3号 令和5年度第3回評議員会の開催について

議案第4号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規定の整備について

④ 報告事項

報告第1号 評議員の就退任について

報告第2号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の
応募状況について

・第5回理事会

① 開催日 令和5年12月25日（月）

② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 報告事項

報告第1号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター理事長の職務の執行状況の報告について（事業進捗状況報告）

報告第2号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の選考結果について

④ 協議事項

協議第1号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の今後について

・第6回理事会

① 開催日 令和6年3月4日（月）

② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 審議事項

議案第1号 令和6年度事業計画について

議案第2号 令和6年度会計予算について

議案第3号 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）の公募について

3. 幹事会

当財団の事業運営に関する事項を協議し、意見を具申する幹事会を4回開催しました。

・第1回幹事会

① 開催日 令和5年5月18日（木）

② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 協議事項

1) 令和4年度事業報告について

2) 令和4年度会計決算報告について

3) 阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）募集について

④ 報告事項

- 1) 人事異動および退職に伴う役員の就退任について
- 2) 任期満了に伴う理事及び監事の就退任について
- 3) 令和5年度第2回理事会・第2回評議員会の開催について
- 4) 令和5年度基本財産運用予定について

・第2回幹事会

① 開催日 令和5年9月20日（水）

② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 協議事項

- 1) 令和5年度第1回会計補正予算について
- 2) 電子取引データの訂正および削除の防止に関する事務処理規定の整備について

④ 報告事項

- 1) 阿蘇地域振興デザインセンター副理事長の選定について
- 2) 令和5年度第4回理事会・第3回評議員会の開催について
- 3) 阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の応募状況について

・第3回幹事会

① 開催日 令和5年12月21日（木）

② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 報告事項

- 1) 令和5年度上半期の事業進捗状況について
- 2) (公財)阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の募集結果について
- 3) 令和5年度第5回理事会の開催について

④ 協議事項

- 1) 今後の(公財)阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）募集について

・第4回幹事会

① 開催日 令和6年2月29日（木）

② 場 所 阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

③ 協議事項

- 1) 令和6年度事業計画について
- 2) 令和6年度会計予算について

3) 公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）の公募について

④ 報告事項

1) 令和5年度第6回理事会の開催について

☆（公財）阿蘇地域振興デザインセンターの役割

DMO とプラットフォーム（P F）

	DMO（観光地域づくり）	まちづくりプラットフォーム
視 座	短期的成果重視 マーケティング志向	長期的成果重視 ブランディング志向
業 務	仕掛け・仕組みづくり （外から人を呼び込む） 今を生きる	土壌づくり（まちづくり活動） （小さな経済活動の種が育つ ・人材育成） 未来をつくる
目標設定	K P I（重要業績評価指標）	K G I（重要目標達成指標）

Ⅲ. 事業報告

阿蘇DCの中期計画に基づく令和5年度の事業実施状況は次のとおりです。

事業番号 (中期計画における 取組番号)	事業の内容	個別事業名 (中期計画における取組内容)	決算額 (単位：千円)
公1 (取組み1)	豊かな自然 による世界 ブランドの 確立 ～阿蘇草原の 維持・再生～	ア 草原再生PR事業 (1-① 草原再生保全支援事業)	4,505
		イ 野焼き支援事業 (1-② 野焼き支援事業)	1,505
		ウ 阿蘇製品の振興 (1-③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント)	1,570
		エ 世界ブランド事業の推進 (1-④ 世界ブランド事業の推進)	10,005
		(公1事業費計)	17,585
公2 (取組み2)	地域の元気 再生による 地域力向上	ア 地域元気再生支援事業 (2-① 住民主体による地域活動の支援)	4,641
		イ 的確な情報の発信 (2-④ 情報の一元化と戦略的な情報発信)	3,807
		ウ 阿蘇回帰運動への取り組み (2-③ 阿蘇ファン拡大に向けた取組み)	1,830
		エ 人材育成事業 (2-② 地域づくりを担う人材の育成)	4,362
		(公2事業費計)	14,640
公3 (取組み3)	広域連携 による 競争力のある 観光地づくり	ア 新たな阿蘇資産の構築・推進 (3-① 付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出)	972
		イ 何度も訪れたくなる観光地域づくり (3-② 何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進)	4,958
		ウ 広域連動型観光まちづくり事業 (3-③ 広域連携による観光地域づくりの推進)	22,935
		(公3事業費計)	28,865
事業費合計(人件費按分前)			61,090

《公益目的事業 1（概要）》

豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～》（取り組み①）

【ア 草原再生PR事業】 【イ 野焼き支援事業】

阿蘇DCの中期5か年計画（平成29年度～令和3年度）に則り、安定的な財源を確保し恒久的な草原の保全を目的として、平成27年度に創設された「阿蘇草原保全支援システム」への負担を継続しました。具体的には、「阿蘇草原保全支援システム」の県市町村負担金1,200万円の50%に当たる600万円を、構成8市町村分として負担いたしました。

令和5年度は、草原環境・体験事業の一環として、「草原ボランティアリズム」や「地元小学生の草原環境・体験学習」、普及・啓発事業としてセミナー等や草原再生PRや野焼き支援を行い、草原の維持・再生を推進しました。

【ウ 阿蘇製品の振興】

当初、あか牛振興事業として取り組んでいましたが、あか牛に限らず阿蘇の産品全体を視野に置いた取り組みへと移行し、現在に至っています。

令和5年度は観光イベントなどの配布物のなかで評価の高い「阿蘇の食卓vol.1」を増刷しました。

加えて、あか牛の肉を活用した阿蘇地域ハンバーグマップ（34店舗）の改訂と増刷を行いました。

また、あそ未来創造塾の取り組みから産まれた産物を中心とした「よかところ」（情報誌）を製作し発行しました。

あそ未来創造塾OBの取り組みとしては「地熱珈琲」や「うぶあま」などの食品加工品や「木工品」（南郷檜）「ドライフラワー」などの加工品もあり、次世代の新たな阿蘇地域の特産品としての期待が高まっています。

魅力ある景観再生として取り組んできた花の回廊づくりは、特に熊本地震からの復興も目途が経ったことから、本年度をもって終了させて頂きました。

阿蘇地域にある世界農業遺産阿蘇フットパスコースの魅力化の一環及び令和6年7月の新千円札発行（北里柴三郎博士肖像画採用）のイベントとしてフットパス大会を北里コース（阿蘇世界農業遺産フットパス）で開催しました。当日は、地元ガイドの方の協力もあり、楽しいおしゃべりを交えた交流が図られました。

【エ 世界ブランド事業の推進】

令和5年度は、阿蘇ジオパーク推進協議会事務局と連携（アジアの溶岩洞窟紹介の英語版発行や地域づくりセミナー共催）を組むことが出来ました。

【ア 草原再生PR事業】

事業内容	【1. 阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払】 （閲覧資料1） 草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇DCの事業を付託しました。 ・地元小学生の草原環境・体験学習 ・草原ボランティアリズム普及啓発活動・セミナー開催 ・広報活動	
		
決算額	【総額】	4,505千円
	1. 阿蘇草原保全支援システム（支払負担金） 事務経費	4,500千円 5千円

【イ 野焼き支援事業】

事業内容	【1. 阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払】 （閲覧資料1） 草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇DCの事業を付託しました。 ・地元小学生の草原環境・体験学習 ・普及啓発活動・セミナー開催など	
		
決算額	【総額】	1,505千円
	1. 阿蘇草原保全支援システム（支払負担金） 事務経費	1,500千円 5千円

【ウ 阿蘇産品の振興】

事業内容	【1. 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業（資料1・2・3）】 ・好評により「阿蘇の食卓v o 1.1」の増刷 ・あか牛ハンバーグマップ増刷及び改訂 増刷に関して、材料高騰による価格改定に対応（9月に発行） ・あそ未来創造塾産品冊子の発行 1～3期生や観光地域リーダー育成講座により発案された産品を中心に、観光地域づくりリーダー育成講座の受講生が開発した産品を含む小冊子「よかところ」を作成し、次世代の人材育成の伴走支援として取り組みました。	
	 <p style="text-align: right;">↑よかところ</p>	
	発行部数	5,000部

<p>事業内容</p>	<p>【2. 関係人口とのパートナーシップによる産品振興や景観づくり】 (資料4)</p> <p>・花による景観づくりと写真展開催 各市町村の公共施設周辺やメインの通りや学校周辺などのチューリップの植栽による景観づくりとして実施しました。阿蘇地域を周遊し写真に撮る来訪者の姿も多く見受けられました。 インスタグラム写真展グランプリ (阿蘇市) → </p> <p>【3. 阿蘇世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業】 (資料5・6)</p> <p>令和5年11月18日(土)阿蘇世界農業遺産フットパス大会として小国町北里コースにて開催。(46名の申込み、体調不良等で不参加あり)地元ガイドも協力し楽しい一日となりました。 なお、大会終了後JA阿蘇小国郷にて開催の収穫感謝祭と連携し、農産物などの購入やイベント参加に誘導しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="432 969 956 1296">  <p>↑フットパス参加者</p> </div> <div data-bbox="1026 958 1287 1285">  <p>↑参加者募集チラシ</p> </div> </div>
<p>決算額</p>	<p>【総額】 1,570千円(補助金/400千円)</p> <p>1. 「販路開拓・拡大キャンペーン」事業 584千円</p> <p>2. 関係人口とのパートナーシップによる産品振興や景観づくり 490千円</p> <p>3. 阿蘇地域世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化 496千円</p>

【エ 世界ブランド事業の推進】

<p>事業内容</p>	<p>【1. 阿蘇ジオパーク推進協議会へ負担金支援】(閲覧資料2)</p> <p>平成25年5月の「世界農業遺産」の認定、平成26年9月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定など、世界に通じるブランド確立に向けた動きを踏まえ、様々な団体と連携を図り、「豊かな自然を活用した世界ブランドの確立」に向けて取り組みました。</p>
-------------	---

・阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金

阿蘇ジオパーク推進協議会の活動支援のために必要な経費の一部を負担し支援しました。



↑ 糸魚川ジオパーク国内大会

・阿蘇ジオパーク推進協議会との連携

令和5年7月28日に、阿蘇ジオパーク推進協議会が開催した研修会「ガイドのあり方について」、講師の香港ユネスコ世界ジオパークのヨン・カミン氏により貴重な指導を受けました。



↑ ジオガイドのあり方についての研修会

決算額	【総額】	10,005千円
	1. 阿蘇ジオパーク推進協議会（負担金） 事務経費	10,000千円 5千円

《公益目的事業 2 地域の元気再生による地域力向上》（取り組み②）

令和5年度5月には、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々なイベントが再開されました。また、徐々に国内旅行者も回復傾向となりました。そのことで、地域元気再生支援事業の使途も多彩な活動への助成となりました。

また、令和5年度、ASONAVI（アソナビ）では、関係人口WEBサイトなどの新たなサイトを拡充するとともに、阿蘇地域のCATVやエフエム放送などの発信に加えSNSを活用した情報発信を行いました。

令和3年度に開講した「あそ未来創造塾」を継続させ、次代を担う人材育成に努め、加えて、地域の次世代の要望に沿う形での地域づくりセミナーも開催しました。

【ア 地域元気再生支援事業】

事業内容	<p>【1. 令和5年度阿蘇地域元気再生支援事業】（資料7） 地域の元気再生による地域力向上をめざし、地域の自然、文化、歴史、産業、生活習慣等の特性を地域資源として発見、活用し、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図ることを目的とした取り組みに対し、助成を行いました。 ・上限 <u>75万円</u> ・助成対象経費の <u>60%以下</u></p> <p>【助成事業数12件】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 神話の磐 的石駐車場整備事業 （阿蘇市跡ヶ瀬区、的石区） ② 南小国町きよらの郷 秋の合同コンサート （きよらの郷秋の合同コンサート実行委員会） ③ 米農家と消費者を繋ぐイベント「米F e s」の復活 （南小国町 米F e s 実行委員会） ④ フォレストワーカー人材採用プロモーション事業 （小国町森林組合） ⑤ 25周年エフエム小国ラジオ祭り～シェア防災～ （株式会社 エフエム小国） ⑥ うぶやまピクニック事業 （産山村観光協会） ⑦ 新規特産品開発事業 （高森町 一般社団法人 高森観光推進機構） ⑧ 第2回N I S H I H A R A A u t u m n フェスティバル （西原村商工会青年部） ⑨ 宮山八王社例大祭鬼神どんまつり （西原村 宮山八王社例大祭まつり実行委員会） ⑩ 九州山地神楽祭り （山都町 九州山地神楽祭実行委員会）
------	---

- ⑪ アサギマダラ飛来・鑑賞プロジェクト
(南阿蘇村 一般社団法人 オープン・セサミアライブ)
- ⑫ アートを活用した滞在価値と体験コンテンツPR事業
(南阿蘇村 一般社団法人 みなみあそ観光局)

(実施例)



うぶやまピクニック事業



南小国町きよらの郷秋の合同コンサート

事業内容



高森町新規特産品開発事業



南阿蘇村 アートを活用した滞在価値と体験コンテンツ事業



山都町九州山地神楽祭り



小国町 ラジオ祭り

決算額	【総額】	4, 6 4 1 千円
	1. 阿蘇地域元気再生支援事業助成金	4, 6 4 1 千円

【イ 的確な情報の発信】

事業内容	<p>【1. 観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守】</p> <p>ASONAVIの拡充を図り、阿蘇地域の情報を発信しています。 阿蘇地域関係人口WEBサイトやYOUTUBEコーナーを新設し様々な情報発信に努めています。</p>  <p>【2. 阿蘇DCホームページの管理・運営・保守】</p> <p>阿蘇DC公式ホームページ (http://asodc.or.jp) の管理・運営・保守を行っています。阿蘇地域元気再生支援事業や各種セミナー、イベント情報などを発信しています。 閲覧数 12,129件 (令和6年3月末現在)</p> <p>【3. 身近な情報媒体などでの情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none">・CATVやSNS等を活用した情報発信事業 阿蘇地域のCATVやエフエム放送などを活用して、あそ未来創造塾や観光リーダー育成講座、阿蘇地域農業遺産フットパスなどの発信に加え、SNSを活用した情報発信の日々更新を図っています。・SNS繁体字版構築のための実証・実験事業 台湾向けのSNSとして繁体字版を週に1回ペースで行っています。発信数 63回 フォロワー数 2,980人 (台湾人) リーチ数 313,618 いいね数 5,180回 (令和6年3月末現在)  <p>旅居熊本阿蘇情報楽遊趣 1978-6663 (いいね) 1, フォロワー 2,980人</p> <ul style="list-style-type: none">・アクティビティパンフなどの印刷  
------	--

<p>事業内容</p>	<p>【4. 情報誌の制作】(資料8)</p> <p>阿蘇DCの事業内容を掲載した阿蘇の人のための情報誌『aso lulu』第24号を発行しました。 発行部数：2,500部</p>   <p>↑ 情報誌『aso lulu No.24』</p> <p>※当財団HPからも閲覧いただけます。 http://www.asodc.or.jp/library/data_asolulu/asolulu21.pdf</p>												
<p>決算額</p>	<table border="1"> <tr> <td>【総額】</td> <td>3,807千円</td> </tr> <tr> <td>1. 阿蘇ナビ等の管理・運営・保守</td> <td>1,837千円</td> </tr> <tr> <td>2. 阿蘇DCホームページ管理・運営・保守</td> <td>151千円</td> </tr> <tr> <td>3. 地域住民に身近な情報媒体での情報発信</td> <td>1,078千円</td> </tr> <tr> <td>4. 情報誌の制作</td> <td>641千円</td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td>100千円</td> </tr> </table>	【総額】	3,807千円	1. 阿蘇ナビ等の管理・運営・保守	1,837千円	2. 阿蘇DCホームページ管理・運営・保守	151千円	3. 地域住民に身近な情報媒体での情報発信	1,078千円	4. 情報誌の制作	641千円	事務経費	100千円
【総額】	3,807千円												
1. 阿蘇ナビ等の管理・運営・保守	1,837千円												
2. 阿蘇DCホームページ管理・運営・保守	151千円												
3. 地域住民に身近な情報媒体での情報発信	1,078千円												
4. 情報誌の制作	641千円												
事務経費	100千円												

【ウ 阿蘇回帰運動への取り組み】

<p>事業内容</p>	<p>【1. 新たな関係人口創出事業】</p> <p>・関係人口に関する情報WEBサイト制作 コンセプトは「つながる！結ぶ！阿蘇づくり」阿蘇地域の外と内をつなぐ人材（関係人口の担い手）にスポットを当て、活動などを取材し、WEBサイト上にて、紹介しています。 イベントやボランティア募集なども随時更新中。</p>  <p>関係人口WEBサイトトップページ↑</p>
-------------	---

【2. 大都市圏における関係人口創出キャンペーン事業】

① 「九州・山口・沖縄合同移住フェア 暮らしごと2023」

令和5年5月28日（日）にふるさと
回帰支援センターにおいて開催された
「九州・山口・沖縄合同移住フェア
2023」に出展しました。



↑ 暮らしごと2023

② 広島都市圏関係人口創出キャンペーン事業 「ASOに行こうフェア」

令和5年8月26日（土）から29日（火）まで広島市紙屋
町シャレオにて、関係人口創出事業として、キャンペーンを行
いました。同時に阿蘇地域の観光PRやあそ花旅などの写真展
も開催しました。



↑ 広島市紙屋町会場

③ 阿蘇地域移住定住相談会～あその暮らしフェア～（資料9）

開催日：令和6年2月9日（金）、10日（土）

場 所：ふるさと回帰支援センター（東京有楽町）

認定NPO法人ふるさと回帰支援センターと連携し、阿蘇地
域への移住や観光誘客促進を目的とした相談会を開催しまし
た。

1回目 5名参加 林業に関心ある人や樹木医を目指す学生等

2回目 15名参加。幾度も相談会に足を運び情報収集をする人
移住を研究している大学の教員

将来、父母の介護のためにUターンを検討している人
他、それぞれの思いを抱いた人たちが参加しました。

（概要）

あそ未来創造塾などの人材育成講座や観光情報発信などの阿蘇
DCの取組みを紹介。先輩移住者として南阿蘇村在住の野中千夏
子さんに移住の良いところ、注意点などの自身の体験をとおして
感じたことを発表していただきました。

事業内容

参加者には、熊本県などの九州出身の方、インターンシップで阿蘇地域に来たことがある学生もおおり、農林業への就職、阿蘇地域での起業、Uターンの希望といった意見が聞かれました。



↑先輩移住者の体験談発表

↑ 募集WEB用チラシ

【3. 移住定住担当者研修会の開催】 (資料10)

日時：令和5年11月24日（金）午後1時～午後4時

場所：阿蘇市就業改善センター

研修目的：

- ①担当者等の情報交換とスキルアップ
- ②先進的な考え方や取り組みについて

事業内容

移住定住研修会→

研修内容：

- ③各市町村の取り組みについて
- ④専門家による講義
- ⑤講義 午後2時30分～午後4時
- ⑥演題「選ばれる地域をつくる！」
- ⑦講師 国学院大学観光まちづくり学部 高 和雄准教授
(前NPOふるさと回帰支援センター副事務局長)



(概要)

移住定住担当者等の情報交換とスキルアップ、先進的な考え方や取り組みについての学習のため開催しました。「移住者」の定義はないため、自治体によって「移住者」の定義をしっかりと決めること、田舎暮らしといっても人によって考えが異なるため、田舎暮らしのイメージをお互いに共有させることが鍵であること、地域の受け入れ態勢整備、メリット以外にデメリットも隠さず伝えることなど、移住定住に繋げていくのに必要なことを熱心に語っていただきました。

決算額	【総額】	1, 830千円
	1. 新たな関係人口創出事業】	682千円
	2. 大都市圏における移住・定住キャンペーン1, 089千円	
	① 九州沖縄山口合同移住フェア暮らシゴト (215千円)	
	② 広島都市圏関係人口創出キャンペーン事業 (304千円)	
	③ 阿蘇地域移住定住相談会 (東京) (570千円)	
	3. 移住定住担当者研修会の開催】	59千円

【エ 人材育成事業】

事業内容	<p>【1. 令和5年度 あそ未来創造塾】(資料11・12) (閲覧資料10)</p> <p>3期目にあたる5年度は、塾生12名、聴講生1名の参加を得て、塾長の渡邊理事長及び金岡熊本大学副学長をお迎えし8月7日(月)にサンクラウン大阿蘇で開講式を開催しました。これまでに、メイン講師である熊本大学金岡先生の講義に加えゲスト講師や実践者の事例報告及び事例研究のカリキュラムや、塾生に対する具体的な事業提案に関するヒアリングを金融機関(本年度から肥後銀行宮地支店も参加)と合同で行いました。翌、令和6年3月2日(土)には修了式を迎えました。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>↑ あそ未来創造塾 (熊本大学熊本創生推進機構との連携事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそ未来創造塾スプリングフォーラム <p>あそ未来創造塾生1期2期3期及び熊本県下4つの未来創造塾、熊本大学地方創生推進機構との相互間の課題共有とネットワーク化を図るために実施しました。</p> <p style="text-align: right;">(資料13)</p> <p>日 時：令和6年3月22日(金) 場 所：ホテルサンクラウン大阿蘇 参加者：44名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>↑ あそ未来創造塾スプリングフォーラム</p>

事業内容	<p>【2. 地域振興などに関するキャリア教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿蘇中央高校などへの取り組み 阿蘇ジオパーク推進協議会と連携して、キャリア教育の一環として取り組みました。 	
	<p>【3. 地域づくりセミナー】</p> <p>第1回地域づくりセミナー（資料14） 日 時：令和5年7月1日（土） 午後2時～4時 場 所：阿蘇市農村環境改善センター テーマ：公務員が描く WAKUWAKUする地域づくり</p> <p>基調講演： 地域活性化センター 吉弘 拓生氏 事例発表 奈良県生駒市職員 和田 真人氏 佐伯市職員 後藤 好信氏 河野 功寛氏 益城町職員 戸上雄太郎氏 参加者：37名 パネルディスカッション： ファシリテーター 緒方 雄一氏 熊本県福祉政策課すまい対策室長</p> <p>参加者からの意見をもとに、基調講演者及び各事例発表者が、それぞれが回答し議論をするやり方で進行。</p> <p>（概 要） 全国各地で地域づくりに取り組んでいる公務員の方々6名をお招きし、公務員が描くWAKUWAKUする地域づくりについて取組事例の発表して頂きました。畑の開墾、無料でコーヒーを配りおしゃべりするなど、なんでも依頼を受ける「レンタルなんでもする公務員」、空き家を購入し、複合施設にリノベーションする公務員、若者をまちづくりに巻き込むため土・日に若者向けのワークショップを自主開催する公務員、など普段から抱いているイメージとは違う公務員が地域を変えていく話がありました。行政でもやり方次第でクリエイティブな仕事が可能、ワクワクする未来を描くことがクリエイティブな仕事をするための第一歩など、行動時の考え方や、公務と公務以外の活動バランスなど、参加者からの質問に答える形で意見交換を行いました。</p>	<p>↑ジオパーク学講座</p>  <p>↑第1回セミナー</p>

事業内容

第2回 地域づくりセミナー（資料15）

日時：令和5年12月1日（金）午後2時～午後4時

場所：草原学習館にて開催。

テーマ：台湾市場の今を知る！

「これからの阿蘇のインバウンドを考える！」

講師：大塚 順彦氏

（一社）インターバウンド推進協会理事長

参加者：27名



↑ 大塚理事長

（概要）

TSMCの熊本進出に伴い、台湾との交流が盛んになるなか、旅行の形態にも変化が生じることが予測されることから、自然環境に癒しを求める傾向に対応するような「ミニツアー」の内容についても考慮する必要があることなど、台湾側の視線について分かりやすく説明して頂きました。

日々、台湾への関心が高まることもあり、各分野から多数の出席がありました。



↑ 案内チラシ



↑ 第2回セミナー

第3回 地域づくりセミナー

（資料16）

テーマ：

デザインから見る阿蘇の可能性

開催日：令和6年3月18日（月）

場所：阿蘇草原学習館

講師：伊澤 良樹 氏

共催：阿蘇ジオパーク推進協議会

参加者：41名



↑ 第3回セミナー



↑ 案内チラシ

事業内容	<p>(概要)</p> <p>コムデギャルソン、ウォルト・ディズニー・ジャパンのデザイナーの経験を持つデザイナーの伊澤良樹さんをゲストスピーカーに、デザインから見る阿蘇の可能性についてお話して頂きました。デザインというと描くことだけが注目されがちですが示すことも重要であること、商業デザインは顧客の利益を追求しソーシャルデザインは公共の利益を追求することで伝達方法や時間的な性質も異なること、デザインは問題解決の方法であり技術であることなどを参加された方と共有しました。また、デザインの可能性について、自然や環境など生態学を中心としたデザインを再度考えることの大切さを話されました。</p> <p>阿蘇ジオパーク推進協議会事務局との連携もあり、デザインに興味を持つ若い世代の出席が多く、質問も含めて熱気にあふれる研修会となりました。</p>								
決算額	<p>【総額】 4, 362千円 (補助金/150千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>1. あそ未来創造塾</td> <td>3, 392千円</td> </tr> <tr> <td>2. 地域振興などによるキャリア教育</td> <td>150千円</td> </tr> <tr> <td>3. 地域づくりセミナー</td> <td>734千円</td> </tr> <tr> <td>事務経費</td> <td>86千円</td> </tr> </table>	1. あそ未来創造塾	3, 392千円	2. 地域振興などによるキャリア教育	150千円	3. 地域づくりセミナー	734千円	事務経費	86千円
1. あそ未来創造塾	3, 392千円								
2. 地域振興などによるキャリア教育	150千円								
3. 地域づくりセミナー	734千円								
事務経費	86千円								

《公益目的事業3 広域連携による競争力のある観光地づくり》（取り組み③）

令和4年度においては、新たな阿蘇資産として構築（DXと連動したアクティビティ）した「ASOロゲイニング大会」を、小国町・南小国町・産山村の北阿蘇地区で開催しました。特に、北阿蘇観光会議（小国町・南小国町・産山村）が主催するアクティビティとして「観光ロゲイニング」（サイクリングロゲイニングなど）の独自開催が始まったこともあり、当財団としての役割は果たしたとの評価を下しました。さらに、進化したアクティビティとして「デジタルバッジキャンペーン」を阿蘇地域で実施していくため、先行している自治体などを調査・視察しました。

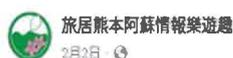
国内旅行者向けとしては、「女子旅」や「ウェルネスツーリズム」の商談会に参加しました。

また、近隣からの旅行者に対して「テーマツーリズム」「マイクロツーリズム」を福岡市などで取り組みました。

広域連動型観光まちづくりにおいては、新型コロナウイルスが5類に移行したことで、韓国や台湾などからのインバウンド客が増加し、そのような状況の好転もあり、インバウンド向けの観光庁による補正予算が計上されたことから、当財団も数件申請し、観光庁から事業2件が採択されました。

5年度も観光人材育成も継続し、観光まちづくり人材育成の一環として、「観光地域づくりリーダー育成講座」を開講し12名の修了生を輩出しました。

下記写真・・・台湾向けのFB 繁体字版とコンテンツ構築（観光庁事業）



#阿蘇玩透透 #推薦旅遊行程
跟著小編一起到阿蘇旅遊
... もっと見る

新装を見る



【ア 新たな阿蘇資産の構築・推進】

事業内容	<p>【1. 付加価値の高いアクティビティの構築】</p> <p>阿蘇地域の新たなアクティビティとしてロゲイニングを、阿蘇地域の南・中・北エリアで4回開催しました。その結果、「観光ロゲイニング」として、各地で開催されるようになりました。</p> <p>そのことから、「デジタルバッジキャンペーン」というロゲイニングの進化系である新たなアクティビティの展開に向けて、先行する地域への調査を行いました。</p>  <p>↑デジタルバッジ (宮崎市周辺デジタルバッジエリア 令和5年12月18日～20日調査)</p>
	<p>・デジタルバッジキャンペーンとは・・・</p> <p>登山愛好者には山小屋やふもとの売店で販売されている登山バッジを収集する（バッジコレクター）文化があります。</p> <p>このキャンペーンは山頂などのアウトドアスポットと温泉・物産館などの消費が見込まれるスポットにランドマーク（訪問スポット）を設定し、ランドマークを訪れることによりバッジを取得できるシステムを構築することにより、両スポットを結び付け阿蘇地域全体で観光消費額の拡大を促進するものとなっています。</p>
	<p>【2. 阿蘇エコツーリズム協会の支援】 （閲覧資料3・4）</p> <p>阿蘇のエコツーリズムの具現化を目指すエコツーリズム協会への支援を行っています。</p> <p>令和5年12月にアクティビティ調査を実施。令和6年3月21日（木）には「サステナブルツーリズムシンポジウム」を開催しました。</p>  <p>↑シンポジウム</p>
	<p>【3. 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援】 （閲覧資料5）</p> <p>阿蘇地域の農泊施設などで構成するGT協議会の研修会や先進地視察などを支援しています。</p> <p>令和6年度は、台湾からのモニターツアーなどを実施し、インバウンド受け入れを体感しました。</p>
	<p>【4. 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金】</p> <p>阿蘇山上ビジターセンター運営会議にオブザーバーとして参加。</p>

事業内容	<p>【5. (公社) 熊本観光連盟への参画】</p> <p>熊本県内の観光協会等の事務局長会議（5年度八代市開催）に参加し、観光情報の共有やネットワーク化などに取り組みました。</p>  <p>↑八代観光案内所</p>									
決算額	<p>【総額】 972千円</p>									
	<table border="0"> <tr> <td>1. 付加価値の高いアクティビティの構築</td> <td>87千円</td> </tr> <tr> <td>2. 阿蘇エコツーリズム協会の運営・支援</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>3. 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援</td> <td>300千円</td> </tr> <tr> <td>4. 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金</td> <td>100千円</td> </tr> <tr> <td>5. (公社) 熊本県観光連盟へ参画 事務経費</td> <td>100千円 85千円</td> </tr> </table>	1. 付加価値の高いアクティビティの構築	87千円	2. 阿蘇エコツーリズム協会の運営・支援	300千円	3. 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援	300千円	4. 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金	100千円	5. (公社) 熊本県観光連盟へ参画 事務経費
1. 付加価値の高いアクティビティの構築	87千円									
2. 阿蘇エコツーリズム協会の運営・支援	300千円									
3. 阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援	300千円									
4. 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金	100千円									
5. (公社) 熊本県観光連盟へ参画 事務経費	100千円 85千円									

イ 何度も訪れたいくなる観光地域づくり

事業内容	<p>【1. 国内旅行者誘客創出事業】 （閲覧資料6）</p> <p>① 女子旅EXPO2023への出展 開催日：令和5年7月1日（土） 会場：電気ビル みらいホール 福岡市で開催された女子旅EXPO2023にデザインセンターも出展。阿蘇地域の女子旅コンテンツを紹介。女子旅EXPOを特集したマガジン「ナッセ福岡」にも掲載されました。</p>  <p>↑ナッセ福岡掲載</p> <p>② ウェルネスツーリズムEXPO2023への出展 開催日：令和5年5月10日（水）～12日（金） 会場：東京ビッグサイト</p> <p>↓ウェルネスツーリズム</p> <p>温泉、ヨガ、瞑想、フィットネス、ヘルシー、食、レクリエーション、交流など「ウェルネス＝豊かな人生へのアクション」を提供する旅行の総称。2020年には約56兆円の市場規模でしたが、5年後の2025年には約166兆円に拡大すると予測されています。現在、阿蘇地域で取り組まれている多くのアクティビティや体験プログラムは、大自然のなかでの癒しを求める来訪者にとって、最良のウェルネスと判断し、この旅行博に、ジオパーク事務局長（通訳）と参加しました。</p> 
------	---

事業内容

③テーマツーリズム (資料17)

「阿蘇・・橋のある風景」をテーマに阿蘇地域の橋を特集。なかでも山都町の通潤橋の国宝指定(近世最大級の石造アーチ橋)を契機に新たなアクションとして、歴史・文化・建築的にも評価の高い阿蘇地域の橋をコンテンツとした「ブリッジツーリズム」(BT)～橋を巡る旅を造成。その案内カレンダー型のパンフレットを製作しました。

※読売旅行でも全国的にBTを特集中です。

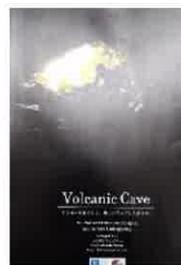


↑国宝通潤橋

④ジオパーク Volcanic Cave
調査・パンフ製作 (資料18)

阿蘇ジオパーク推進協議会と連携して東アジアにある溶岩洞窟を調査しました。

その調査を元にパンフレット「Volcanic Cave」(日本語版)を制作しました。



↑溶岩洞窟パンフ

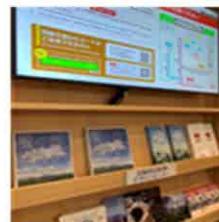
【2. マイクロツーリズム事業】

①熊本国際空港での観光PR事業

1階レンタカー案内所前にある情報コーナーにて、阿蘇地域動画やパンフレットなどを提供しています。

なお、定期的に棚卸を実施し、可能な限りフレッシュな情報発信に努めています。

高森町に第2本社を置く(株)コアミックスの首都圏向けの熊本グルメの情報誌(ポモドーロ)も、同時に配布しています。(資料19)



↑空港情報コーナー

②「ASO Movie」の発行 (資料20)

阿蘇DC及び市町村紹介動画を紹介するパンフレットを制作し、閲覧数の向上と市町村の観光素材の誘導を図りました。

「ASO Movie」→



事業内容	<p>【3. 各種観光PRイベントへの出展】 (資料21)</p> <p>天神エフエムと連携して、令和6年3月15日PRイベントを福岡市内で開催しました。観光PRに加えて移住定住のアンケート調査も実施しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">↑天神エフエムに出展</p> <p style="text-align: right;">↑案内チラシ</p>
決算額	<p>【総額】 4,958千円</p> <p>1. 国内旅行者誘客創出事業 2,821千円</p> <p>①女子旅EXPO2023への出展 (534千円)</p> <p>②ウェルネスツーリズムEXPO2023出展 (1,100千円)</p> <p>③テーマツーリズム (587千円)</p> <p>④ジオパーク Volcanic Cave 調査・パンフ製作 (600千円)</p> <p>2. マイクロツーリズム事業 1,825千円</p> <p>①熊本国際空港デジタルサイネージ&チラシラック賃貸 (1,354千円)</p> <p>②「ASO Movie」制作 (471千円)</p> <p>3. 各種観光PRイベントへの出展 312千円</p>

【ウ 広域連動型観光まちづくり事業】

事業内容	<p>令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症の5類移行により「国内旅行者」の旅行需要の高まりもあり、コロナ感染前の状態に徐々に回復傾向となりました。</p> <p>なお、下半期からは円安とも相まってインバウンド客も回復傾向が顕著になりました。</p> <p>【1. 広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業】</p> <p>観光庁事業である「広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業」を全国観光圏推進協議会加盟の12観光圏（浜松観光圏大会）の共通事業として行いました。</p> <p>①全国観光圏推進協議会（5回） 3回のオンライン形式と2回のリアル開催に参加しました。</p>
------	--

事業内容	<p>②観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修 すべてリモート形式で受講しました。(3回12名参加)</p> <p>【2. 阿蘇くじゅう観光圏に関する事業】</p> <p>①阿蘇市のインバウンド事業である台北国際旅行博に係るブース 出展事業</p> <p>②「令和5年度阿蘇山上観光復興会議」(阿蘇市)に関する業務</p> <p>③阿蘇くじゅう観光圏来訪者満足度調査事業 (資料22) 阿蘇地域関係市町村及び竹田市・高千穂町にある約160の 宿泊施設に対し同調査を留め置き形式で夏冬2回実施しまし た。 なお、外国人ヒアリング調査は1回目10月に調査、2回目 は1月に実施しました。</p> <p>④全国観光圏推進協議会「VISIT JAPANトラベル& MICEマート」商談会は、10月のツーリズムEXPO 2023にて実施しました。 また、「UNDISCOVERED JAPAN」情報発信事 業も継続しました。</p> <p>【3. 九州3観光圏連携事業】</p> <p>九州3観光圏連携によるインバウンド誘客 プロモーション事業、3観光圏周遊創出事業を 実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州3観光圏連携会議 ・九州3観光圏モニターツアー事業 (海風の国モニターツアー事業) <div style="text-align: right;">  <p>↑海風の国モニターツアー</p> </div> <p>【4. 阿蘇くじゅう観光圏高品質認証制度継続事業】</p> <p>全国観光圏推進協議会とサクラクオリティ委員会の取り組み との連携を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスレベル維持及び向上 ・積極的な情報発信のための調査 <p>※コロナ感染症により全国観光圏事務局と調整中のため事業が休止して います。</p>
------	---

【5. 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援】

・阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議総会の開催

新型コロナウイルス感染拡大に伴い縮小の形態で開催していましたが、令和5年度は7月7日に通常開催となりました。

九州運輸局観光振興部を招へいし研修会開催。九州観光の現況と課題や観光庁各事業について報告して頂きました。

・ツーリズムEXPO2023への出展

新型コロナウイルス感染症第5類移行を踏まえて、インバウンド誘客や国内旅行者誘客を図るために、10月に「ツーリズムEXPO2023」(インテックス大阪)に出展しました。会場内でデジタルスタンプラリーを開催し、阿蘇くじゅう観光圏への誘客を図りました。

なお、竹田市ツーリズム協会からも1名参加。(高千穂観光協会独自出展)



↑ツーリズムEXPO2023

事業内容

・観光地域づくりセミナーの開催 (資料23)

テーマ：「幸福感の視点から考える観光地域づくり」

講師：柏木千春大正大学社会共生学部公共政策学科教授

日時：令和6年2月19日(土) 午後2時～午後4時

場所：ホテルサンクラウン大阿蘇

参加者：25名



↑案内チラシ

↑会場の花飾り

(概要)

「幸福感」の観点から見た観光について話されました。満足感を得るための観光が求められていること。また、DMOと観光圏

プラットフォームの違い、マーケティング・ブランディングなどの目的の違いについて解説しました。

今後は、顧客とのつながりや健康などについて、色んな視点で幸福感を得られる観光がこれから望まれる。と述べられました。

なお、参加者の多くが女性であったこともあり、会場には高森町の花農家によるドライフラワーの飾りつけが施されました。

【6. 令和5年度阿蘇地域観光リーダー育成講座】

(資料24・25)

魅力ある観光地域づくりをリードする「観光人材」を育成するために、各地域の情報収集や調査をもとに地域全体のレベルアップを図り、引き続き、魅力的な商品企画を提案し、実践出来る人材育成を進めました。

なお、令和5年度は、関係市町村及び観光協会などから12名の受講生が、それぞれの地域資源などを活かした旅行商品などを造成しました



↑プロジェクト発表会

【7. インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業（観光庁2件）】

(閲覧資料7・8)

事業内容

・欧米豪からの訪日外国人旅行者をターゲットにしたコンテンツ造成事業 ASO Experiences (阿蘇地域体験)

- ① 北里柴三郎と地熱の里巡り (廃線跡サイクリング含む)
- ② トロッコ列車と終点駅周辺のまち歩き (南阿蘇・高森)
- ③ 新たなアクティビティ「4輪バギーランド」(阿蘇市・楽園波野)



↑廃線跡サイクリング



↑北里柴三郎記念館



↑トロッコ列車



↑高森町まち歩き



↑バギー体験



↑民泊体験

・台湾からの訪日外国人旅行者をターゲットにしたコンテンツ造成事業

<阿蘇ミニツアーモデルコース（阿蘇的魅力旅游指南）>

- ① 南中北阿蘇を巡る旅（阿蘇神社・阿蘇山・高森・小国）
- ② 南阿蘇を巡る旅（高森・南阿蘇・西原・山都）
- ③ 中北阿蘇を巡る旅（阿蘇市・南小国・産山）

事業内容



↑台湾からの訪日外国人旅行者をターゲットにしたコンテンツ造成

【8. 訪日外国人旅行者阿蘇地域周遊構築事業】

(資料26・27・28)

(閲覧資料9)

訪日外国人向けのツーリストマップの繁体字版発行及びコンテンツの原案となる調査やリーフレット(英語版)を作成しました



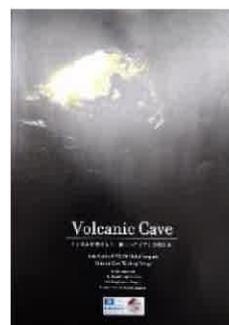
↑繁体字版ツーリストマップ



↑ウェルネスツーリズムリーフレット作成



↑阿蘇地域体験コンテンツ調査事業



↑VOLCANIC CAVE 案内マップ(英語版)

事業内容

【9. インバウンド向け観光プロモーション事業】

実施日：令和5年5月27日(土)～29日(月)

- ・ 中華民国旅行商業同業公会全国連合会(※全聯会)や台北市観光協会及びANTA九州支部との連携促進を図りました。
- ・ 将来の日台間での集客と手配の流れの創出を図り、今後、増加する「小型・地方旅」(ミニツアー)に対応するために、旅商品の開発と手配に関し、(一社)インターバウンドカンパニー(台湾の旅行社)や全聯会に加えて、ANTA九州支部との連携を強化することになりました。

- ①観光庁事業を活用したモデルコースの造成、ミニツアーの実施
- ②台湾及び県内の台湾コミュニティーへの情報発信に向けたコンテンツの選定及び阿蘇地域からの情報発信の実施。

(SNSの活用のための台湾側スタッフとの打ち合わせ)

- ③阿蘇地域の受け入れランドオペレーターの育成と構築調査

<p>事業内容</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>↑台湾全協会との協議 ↑台北市観光協会 ↑台湾旅の博覧会</p> <p>・インバウンド旅行会社商談会 開催日：令和5年10月19日（木） 熊本県（観光連盟）などが実施する台湾向けの商談会に参加し、阿蘇地域の観光PR事業や女子旅、ウェルネスツーリズム、ライドアクティビティのなどの旅商品の売り込みを行いました。</p> <p>また、台湾からの旅行者が望む体験ツアーに関し、ヒアリングを行い、求められるコンテンツ構築について貴重な情報を仕入れることが出来ました。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end;">  </div> <p>↑台湾旅行社 向け商談会</p> <p>【10. 世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制事業】</p> <p>観光庁同事業の採択を受けて、DMO先進地である（一社）豊岡観光イノベーション及び（一社）田辺市熊野ツーリズムビューローにて、デザインセンター事務局員4名が研修に参加しました。</p> <div style="display: flex; justify-content: flex-end;">  </div> <p>↑熊野ツーリズムビューロー研修</p>
<p>決算額</p>	<p>【総額】 22,935千円 (補助金13,626千円)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広域周遊観光促進のための新たな観光地域支援事業 431千円 <ol style="list-style-type: none"> ①全国観光圏推進協議会共通事業 全国観光圏推進協議会 ②観光地域づくりマネージャーレベルアップ研修 ③全国観光圏推進協議会「VISIT JAPANトラベル&MICEマート2023」 2. 阿蘇くじゅう観光圏に関する事業 2,070千円 <ol style="list-style-type: none"> 阿蘇市に関する事業 (805千円) 来訪者満足度調査事業 (1,265千円) 3. 九州3観光圏連携事業 84千円 4. 阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業 69千円 5. 阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議負担金 1,000千円 6. 阿蘇地域観光リーダー育成講座 2,784千円

決算額	7. インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ 造成支援事業	12,010千円
	①「ASO Experiences」(阿蘇地域体験)	(6,010千円)
	②「阿蘇ミニツアーモデルコース」(阿蘇的魅力旅游指南)	(6,000千円)
	8. 訪日外国人旅行者阿蘇地域周遊構築事業	1,496千円
	9. インバウンド向け観光プロモーション事業	1,926千円
	10. 世界に誇る観光地を形成するためのDMO体制事業	
		743千円
	事務経費(輸送費・消耗品費等)	322千円